

## ○ABMオイル交換資料

### 注意点:

オイル交換は慎重に行わないと作動油が走行モーターにかかってしまい動作不良を引き起こす原因となります。

作業内容をご確認いただき、自信が場合はサービス店に依頼するのをお勧めします。



①作業が行い易い場所に移動を行います。

②ユニットカバーを取外します。

③リフトを下限位置まで下げます。

④バックバルブスクリュー(図番95)の下にオイル受け皿を置きます。

⑤バックバルブスクリュー(図番95)を取外します。  
(スパナ サイズ17)

⑥ハンドルを1回ポンピングします。  
オイルと共に、バルブスプリング(図番97)、  
コーン(図番98)が出てきます。  
出ない場合は、マグナットで取り出します。

⑦オイルは少しずつ出てきます。  
時間は掛かりますが、オイルが止まるまで  
行います。

⑧組付けは逆の順番で行います。

⑨給油はプラグ(図番92)を取外し行います。

種類:ISO VG32 (油圧作動油)

作動油量:約500cc

(給油口から溢れない程度まで入れてください。)

※上昇させて一番上で5回程度ポンピングしますと、  
内部エアーが抜けます。

